

東京都立墨田川高等学校 令和5年度（2年次用）公民科 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～H組

使用教科書：（第一学習社『高等学校 公共』）

教科 公民 の目標：
【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現愛社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚な

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 公共的な空間を作る私たち 【知識及び技能】 人間が個人として相互に尊重されるべき存在であり、対話を通して高め合うことのできる社会的存在であることを理解させる。また、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重できる存在であると理解させ、自らのキャリア形成がよりよい社会の形成に結びつくことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自身が地域社会などの様々な集団の一因として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になる態度を育む。	・指導事項 青年期の位置づけと課題 アイデンティティの確立 キャリア形成と自己実現 多様性と共通性 ・教材 教科書 補助教材『最新図説 公共』（浜島書店） 授業用ワークシート（デジタル版） ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 人間としての在り方生き方を探求する活動を通して、人間が個人として相互に尊重されるべき存在であり、対話を通して高め合うことのできる社会的存在であることを理解することができる。また、自らの体験などを振り返ることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重できる存在であると理解し、自らのキャリア形成がよりよい社会の形成に結びつくことを理解することができる。 【思考・判断・表現】 社会に参画する自立した主体とは何かを問う活動を通して、自身が地域社会などの様々な集団の一因として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になる態度を身に付けている。	○	○	○	5
	B 公共的な空間における人間としての在り方生き方 【知識及び技能】 主体的に社会に参画し、他者と協働する際の選択・判断の手掛かりとしての考え方や、行為の動機となる考え方について理解させる。また、行為者自身の人間としての在り方生き方についての探求がよりよく生きていく上で重要であることを理解させ、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 倫理的価値の判断において、行為の結果を重視する考え方や、行為の動機を重視する考え方などを活用し、概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な体験や思索の機会を通して判断と行動の選択基準について自らの考えを深め、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。	・指導事項 ものの見方考え方 動機説と結果説 宗教思想 日本の伝統や文化、思想 倫理的価値、哲学思想 ・教材 教科書 補助教材『最新図説 公共』（浜島書店） 授業用ワークシート（デジタル版） ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、主体的に社会に参画し、他者と協働する際の選択・判断の手掛かりとしての考え方や、行為の動機となる考え方について理解することができる。また、行為者自身の人間としての在り方生き方についての探求がよりよく生きていく上で重要であることを理解し、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 倫理的価値の判断において、行為の結果を重視する考え方や、行為の動機を重視する考え方などを活用し、概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な体験や思索の機会を通して判断と行動の選択基準について自らの考えを深め、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。	○	○	○	6
	第1回定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
前期	<p>B 公共的な空間における人間としての在り方生き方</p> <p>【知識及び技能】 主体的に社会に参画し、他者と協働する際の選択・判断の手掛かりとしての考え方や、行為の動機となる考え方について理解させる。また、行為者自身の人間としての在り方生き方についての探求がよりよく生きていく上で重要であることを理解させ、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 倫理的価値の判断において、行為の結果を重視する考え方と、行為の動機を重視する考え方などを活用し、概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な体験や思索の機会を通して判断と行動の選択基準について自らの考えを深め、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。</p>	<p>・指導事項 人間・個人の尊厳 民主政治の基本原則 法の支配 自由・権利と責任・義務</p> <p>・教材 教科書 補助教材『最新図説 公共』（浜島書店） 授業用ワークシート（デジタル版）</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 法や規範の役割を理解し、主体的に他者と協働する際の選択・判断の手掛かりとしての考え方や、行為の動機となる考え方について理解することができる。また、行為者自身の人間としての在り方生き方についての探求がよりよく生きていく上で重要であることを理解し、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本原則において、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して個人と社会のかかわりにおいて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な体験や思索の機会を通して判断と行動の選択基準について自らの考えを深め、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>	○	○	○	6
	<p>D 法的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 法や規範の意義・役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、権利や自由が保障、実現させることを理解させる。よりよい社会は、個人が議論に参加し、利害関係の対立状況を調整して、合意を形成するための情報収集能力を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会の形成者の主体であることを視野に入れながら、合意形成をもって主題の解決を目指し、論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。</p>	<p>・指導事項 法や規範の意義の役割 契約と消費の権利・責任 司法参加の意義</p> <p>・教材 教科書 補助教材『最新図説 公共』（浜島書店） 授業用ワークシート（デジタル版）</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 法や規範の意義・役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、権利や自由が保障、実現させることを理解する。よりよい社会は、個人が議論に参加し、意見や利害関係の対立状況を調整して、合意を形成することを通して気づかれるものだとして理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 自立した社会の形成者の主体であることを視野に入れながら、合意形成をもって主題の解決を目指し、論拠をもって表現すること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な体験や思索の機会を通して判断と行動の選択基準について自らの考えを深め、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>	○	○	○	5
	第2回定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
前期	E 政治参加と公正な世論の形成 【知識及び技能】 現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、個人が議論に参加し、意見や利害関係の対立状況を調整して、合意を形成することを通して気づかれるものだと理解させる。 【思考・判断・表現】 自立した社会の形成者の主体であることを視野に入れながら、合意形成をもって主題の解決を目指し、論拠をもって表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 判断と行動の選択基準について自らの考えを深め、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深めている。	・指導事項 選挙の意義と課題 政治参加と世論形成 国会と立法 内閣と行政の民主化 地方自治と住民の福祉 ・教材 教科書 補助教材『最新図説 公共』（浜島書店） 授業用ワークシート（デジタル版） ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 政治参加と公正な世論の形成、国会・内閣・裁判所・地方自治について、現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、個人が議論に参加し、意見や利害関係の対立状況を調整して、合意を形成することを通して気づかれるものだと理解する。 【思考・判断・表現】 自立した社会の形成者の主体であることを視野に入れながら、合意形成をもって主題の解決を目指し、論拠をもって表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な体験や思索の機会を通して判断と行動の選択基準について自らの考えを深め、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深めている。	○	○	○	4
	F 国際社会と安全保障 【知識及び技能】 国際社会における、国際連合の役割などよりよい社会は、個人が議論に参加し、意見や利害関係の対立状況を調整して、合意を形成することを通して気づかれるものだと理解させる。 【思考・判断・表現】 合意形成をもって主題の解決を目指し、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚を深めさせる。	・指導事項 国家と国際法 国境と領土問題 国際連合の役割 平和主義と安全保障 核兵器廃絶と国際平和 ・教材 教科書 補助教材『最新図説 公共』（浜島書店） 授業用ワークシート（デジタル版） ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 国際社会における、国際連合の役割や機能、現状や諸課題について、よりよい社会は、個人が議論に参加し、意見や利害関係の対立状況を調整して、合意を形成することを通して気づかれるものだと理解する。 【思考・判断・表現】 自立した社会の形成者の主体であることを視野に入れながら、合意形成をもって主題の解決を目指し、論拠をもって表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な体験や思索の機会を通して判断と行動の選択基準について自らの考えを深め、平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚を深めている。	○	○	○	6
	G 国際社会の変化と日本の役割 【知識及び技能】 国際社会の現状や諸課題について、よりよい社会は、個人が議論に参加し、意見や利害関係の対立状況を調整して、合意を形成することを通して気づかれるものだと理解させる。 【思考・判断・表現】 自立した社会の形成者の主体であることを視野に入れながら、合意形成をもって主題の解決を目指し、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な体験や思索の機会を通して判断と行動の選択基準について自らの考えを深め、平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚を深めさせる。	・指導事項 今日の国際社会 人種・民族問題と地域紛争 国際社会における日本の役割 ・教材 教科書 補助教材『最新図説 公共』（浜島書店） 授業用ワークシート（デジタル版） ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 国際社会における、国際連合の役割や機能、現状や諸課題について、よりよい社会は、個人が議論に参加し、意見や利害関係の対立状況を調整して、合意を形成することを通して気づかれるものだと理解する。 【思考・判断・表現】 自立した社会の形成者の主体であることを視野に入れながら、合意形成をもって主題の解決を目指し、論拠をもって表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な体験や思索の機会を通して判断と行動の選択基準について自らの考えを深め、平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚を深めている。	○	○	○	6
後期	第3回定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
後 期	<p>H 経済的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 日本における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融のはたらきについて理解させる。</p> <p>【思考・判断・表現】 資源の適正分配が図られることや、活発な経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることが必要であることを踏まえて、論拠をもって説明させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 経済活動の側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題に対して、判断と行動の選択基準について自らの考えを深めさせる。</p>	<p>・指導事項 雇用と労働問題 企業の活動 農林水産の現状とこれから</p> <p>・教材 教科書 補助教材『最新図説 公共』（浜島書店） 授業用ワークシート（デジタル版）</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 少子高齢化社会の日本における、職業選択や雇用、労働問題、財政について、社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融のはたらきについて理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 公正で自由な取引を行うことを通じて資源の適正分配が図られることや、活発な経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることが必要であることを踏まえて、論拠をもって説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動の側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題に対して、判断と行動の選択基準について自らの考えを深めている。</p>	○	○	○	5
	<p>I 市場経済の機能と限界</p> <p>【知識及び技能】 少子高齢化社会の日本における、市場経済の機能と限界、金融のはたらきについて理解させる。</p> <p>【思考・判断・表現】 公正で自由な取引を行うことや、活発な経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることが必要であることを踏まえて、論拠をもって説明させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 経済活動の側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題に対して、判断と行動の選択基準について自らの考えを深めさせる。</p>	<p>・指導事項 市場経済と経済運営 市場経済のしくみ 経済発展と環境保全 経済成長と国民福祉</p> <p>・教材 教科書 補助教材『最新図説 公共』（浜島書店） 授業用ワークシート（デジタル版）</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 少子高齢化社会の日本における、職業選択や雇用、労働問題、財政について、社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融のはたらきについて理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 公正で自由な取引を行うことを通じて資源の適正分配が図られることや、活発な経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることが必要であることを踏まえて、論拠をもって説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動の側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題に対して、判断と行動の選択基準について自らの考えを深めている。</p>	○	○	○	4
	<p>J 金融のはたらき、財政の役割と社会保障</p> <p>【知識及び技能】 少子高齢化社会の日本における、市場経済の機能と限界、金融のはたらきについて理解させる。</p> <p>【思考・判断・表現】 公正で自由な取引を行うことや、活発な経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることが必要であることを踏まえて、論拠をもって説明させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 経済活動の側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題に対して、判断と行動の選択基準について自らの考えを深めさせる。</p>	<p>・指導事項 金融の意義や役割 政府の経済活動 社会保障と国民福祉</p> <p>・教材 教科書 補助教材『最新図説 公共』（浜島書店） 授業用ワークシート（デジタル版）</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 少子高齢化社会の日本における、職業選択や雇用、労働問題、財政について、社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融のはたらきについて理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 公正で自由な取引を行うことを通じて資源の適正分配が図られることや、活発な経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることが必要であることを踏まえて、論拠をもって説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動の側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題に対して、判断と行動の選択基準について自らの考えを深めている。</p>	○	○	○	4
	第4回定期考査			○	○	○	1

